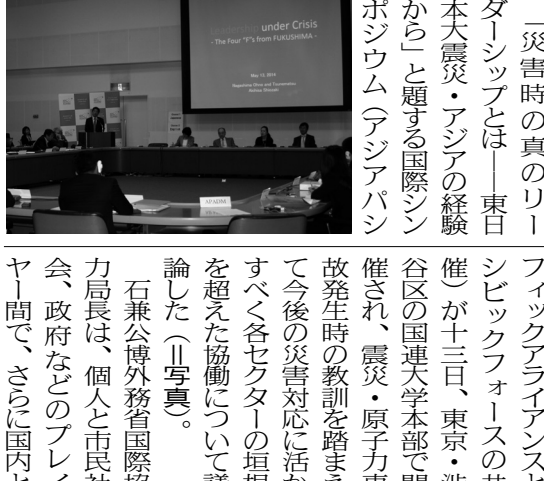


# 平時から考える訓練を

## 垣根を超えたネットワーク重要



「災害時の真のリーダーシップとは——東日本大震災・アジアの経験から」と題する国際シンポジウム(アジアパシフィックアライアンスとシビックフォースの共催)が十三日、東京・渋谷区の国連大学本部で開かれ、震災・原子力事故発生時の教訓を踏まえて今後の災害対応に活かすべく各セクターの垣根を超えた協働について議論した(写真)。

石井公博外務省国際協力局長は、個人と市民社会、政府などのプレイヤー間で、さらに国内と海外の国際間で、緊密なネットワークを構築することが災害対応のレジリエンスを高めることにつながると強調した。

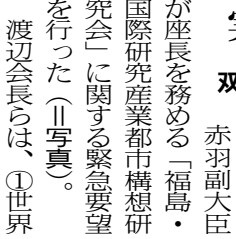
岡本全勝復興庁統括官は、通常地方自治体が請け負う被災者支援に日本の災害史上初めて今回政府が直接乗り出したとして東日本大震災発生時の対応を紹介。一方で鉄道や電力などのインフラ復旧や病院やガソリンスタンドなどのサービス再開においては民間企業の総力を挙げた協力があり、業界団体の調整により被災していない地域の業務を担当する同業会社が応援に入った例などを紹介した。

福島原発事故独立検証委員会ウィーン・グループメンバの塩崎久弁護士は、災害発生時には①危機現場からの連絡階層の大胆なフラット化②最悪シナリオの想定を通じて危機対応優先順位の明確化③危機対応の性質に応じた選択的なトップ介入④危機広報における社会との信頼関係維持——の四つを重要なこととして挙げた。

その後のパネル討論では、シナリオに基づかな

# 実効性のある都市構想を

## 双葉郡町村会 赤羽経産副大臣に要望



渡辺利綱・双葉地方町村会長らは一嘉・経済産業副大臣と会談し、赤羽副大臣が座長を務める「福島・国際研究産業都市構想研究会」に関する緊急要望を行った(写真)。

渡辺会長らは、①世界

「国として もっと支援を」

文科相、福島へ

下村博文文科相は十二日、福島第一原子力発電所と事故炉安定化の拠点となっているJヴィレッジを視察した。

下村大臣は、十三日の閣議後会見で、現地で汚染水対策に取り組む多くの作業員らの努力を見て、「国としても、もっと支援をしなければならぬ」との感想を述べ、東京電力から要望のあった廃炉に向けた遠隔操作技術の研究開発や、中長期的な廃炉人材の育成への協力に対し、適切に対応していくとの考えを示した。一方で、一八年前半にはJヴィレッジを返還して欲しいとの地元要望については、東京電力に燃るべき対応を申し入れたとしている。

また、記者団からの質問で、雑誌連載漫画での描写に関連し、風評被害が広がらないよう、文科省として放射線に関する国民の科学的理解の向上に努めていく考えを述べた。

「福島県を応援も 修学旅行対策も」

埼玉県知事

埼玉県の上田清司知事は、七日の記者会見で、原子力災害に伴い双葉町の臨時役場が県内に開設されていたことを縁に、「この誰よりも埼玉県は福島県を応援していきたい」として、福島県の観光や県産品に関する風評被害対策について、強力に支援していく考えを示した。

上田知事は、福島県の観光や食材が、未だ震災前の状況に戻っていないことを憂慮した上で、埼玉物産観光館での福島県産品の販売、県庁食堂での福島県産品を使った料理の提供とともに、小中学校の修学旅行者回復を念頭に、市町村長の集まる定例会議の場で福島県知事に講演を願い、教育関係者も出席させ理解を深めてもらうことを述べた。

「個人レベルの放射線」

広く利用されている放射線

ゆりちゃん「場の線量」から「個人レベルの放射線」を測定へってどういう意味ですか？

タクサン 福島第一原子力発電所の事故から約三年が経過しました。高いレベルの放射線が被ばくする可能性がなくなった初期の「緊急時被ばく状況」から、復興途上の状況と言え、「現存被ばく状況」へと移行した今、空間線量率す

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope

数値目標設けぬ節電要請

電力需給 原子力全停、さらに厳しく

政府は十六日、夏季の電力需給対策を決定した。原子力発電所が全基停止し、再稼働の見通しが立たぬところ、経済産業省の専門家委員による検証結果を踏まえ、国民生活や経済活動に支障がないよう、エネルギー需給の安定に万全を期すこととし、沖縄電力管内を除く全国で、七・九月のお盆時期を除く平日九・二十時の数値目標を設けない節電協力要請を行うほか、需給状況の厳しい中部・西日本、電力設備の保守・点検に万全を期し安定供給に努めることとしている。

宮下むつ市長が 急逝

宮下順一郎むつ市長が十九日、急逝した。六十二歳。二十五日の午後六時三十分より下北文化会館で市葬が行われる。

宮下氏は、むつ市議を務めた後、使用済み燃料中間貯蔵施設を誘致した故杉山市長の後任として〇七年に市長に就任し、核燃料サイクル政策の理解促進、市町村合併後の市政運営などに尽力した。

新市長決定までは、新谷加次副市長が職務代理者となる。

の先駆けとなる研究機関の集積など大胆かつ先進的な産業振興策を盛り込み、双葉地方全体の活力につながる構想を策定すること——を要望した。

赤羽副大臣は、福島第一原子力発電所の廃炉が国が責任を持ち世界中の英知を集結させていきたこととした。「福島・国際研究産業都市構想研究会」は今年一月に設置され、六月にも構想をまとめるとしている。

原子力システム 研究他課題募集

文科省

文部科学省は六月十九日まで、「原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ」

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope



「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope

燃料輸入で貿易収支赤字拡大

財務省

財務省は十二日、一三

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope

「個人レベルの放射線」

被ばくレベルほぼ決定

ゆりちゃん「個人レベルの放射線」測定を事実に行った実例はあるので、タクサン アフタビで開催された第二回ICRP国際シンポジウム参加報告(Sotope